

島本町教育委員会 会議録（平成30年第8回 定例会）

日 時	平成30年7月19日（木） 午前9時30分 ～ 午前10時55分
場 所	島本町役場 地階 第五会議室
出 席 者	持田教育長、中川委員、高岡委員、藤田委員、西山委員 安藤次長兼教育総務課長、川畑次長兼子育て支援課長
委 員 及 び 事 務 局 職 員	（教育総務課）島本主査、中谷 （教育推進課）川口課長、佐々木参事 （子育て支援課） （生涯学習課）南田課長
欠 席 者	
委 員	
議 題 及 び 議 事 の 趣 旨	第27号議案 平成31年度使用中学校教科用図書特別の教科「道徳」の採 択について 第7号報告 平成30年度夏季休業日中における児童生徒の指導について
議 決 事 項	
教 育 長 の 報 告 の 要 旨	別紙議事録のとおり
そ の 他	傍聴者14名

教育長

ただいまの出席者は5名で、全員出席であります。

よって平成30年第8回教育委員会定例会を開会いたします。

お諮りします。会議録署名委員は島本町教育委員会会議規則第17条の規定により、中川委員に決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

ご異議がないようでございますので、会議録署名委員は、中川委員に決定いたしました。

よろしく願いいたします。

第27号議案「平成31年度使用中学校教科用図書特別の教科「道徳」の採択について」を議題とします。

委員の方々におかれましては、展示期間中に既に閲覧していただいていることと思われませんが、本日は選定委員会から具申されました8社につきまして、用意しておりますので、必要に応じてご覧ください。

第27号議案「平成31年度使用中学校教科用図書特別の教科「道徳」の採択について」事務局の説明を求めます。

教育推進課参事

本日の具申に至るまでの経緯につきましては、5月22日に開催いたしました1回目の選定委員会におきまして、見本本の調査に関する調査委員会が設置され、6月19日までに5回の調査委員会を開き、調査員により調査・研究を行いました。その後、6月28日に開かれた2回目の選定委員会で調査員からの報告と調査委員長からのヒアリングを実施しました。そして、7月6日の3回目の選定委員会におきまして本町で使用する上でもっとも適当であると考えられる発行者の教科書を選定し、本日具申した次第です。

また、選定作業と平行して住民の方々にも教科書を閲覧して頂くため、5月22日から7月6日まで、町教育センター及び町立図書館にて法定外・法定内展示を行いました。そして意見箱を設置し、住民の方々からの意見や感想を募りました。

教育長

なお、第27号議案「平成31年度使用小学校教科用図書特別の教科「道徳」の採択について」は、中学校教科用図書選定委員会委員長である第一中学校の松本校長に、具申について説明していただくため、入室を許可してよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないようでございますので、松本委員長の入室を許可いたします。

 この際、暫時休憩いたします。

 (松本委員長 入室)

教育長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

 これより、中学校教科用図書選定委員会委員長から「平成31年度使用中学校教科用図書特別の教科「道徳」の選定の関する意見について」に関する具申を求めます。

選定委員長 平成30年度教科用図書の採択にあたりまして、本地区の選定委員会にて協議した結果を具申いたします。お手元の資料の具申理由について、まずは選定教科書3社につきまして、上から順に具申理由を申し上げます。

 最初に東京書籍でございます。内容項目の中で、学年ごとに13の重点項目を設定されており、マークや色分けで表されているのが特徴でございます。各教科と関連する教材を取り上げ、関連する教科のマークがついております。重点項目となっている「いじめ」や「いのちの大切さ」について、各学年とも1カ所3時間扱いとする複数教材を組み合わせたユニットが配置され、重点的に扱えるようになっております。また、振り返り用紙には、自己評価ができる観点別のABC評価欄が設けられています。巻末にある切り取り式の振り返り用紙では、学期ごとに生徒が各自で振り返りを行い、担任に提出できるようになっています。さらに、各学年とも巻末に切り取り式のホワイトボード用紙と心情円がついており、話し合い活動の際には個人でもグループでも活用できるように工夫されております。考え、議論する道徳授業を進めるために、グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングが用意されており、「アクション」というページでは、体験的な学習、要するに役割演技ができるように配慮されています。紙とデータの両方でワークシートがあり、データは編集可能となっています。教科書の大きさにつきましてはAB版で、文章の量は多いものとなっています。

 続きまして、光村図書でございます。特に中学生に考えてもらいたい「いじめ問題」や「情報モラル」など現代的な課題も、教材だけで

なくコラムとして取り上げられております。全巻にわたって「生命の尊さ」に力点が置かれており、各学年に三本ずつの教材を置くことで、生徒が生命の大切さを考え、自らを大切にすることを意図した編集がされています。生徒の生活実態や発達段階、成長に合わせて、内容や分量、世界の広がりなど、学年ごとに学びの深まりなどの傾斜をつけた配置となっています。考え、議論する道徳に向けて、単元ごとに「学びのテーマ」、要するにめあてがあり、考える観点がわかりやすく示されています。また、道徳の学びを大きくくりにとらえられるように、1年間を4つのまとまりに分け、さらにそれぞれの学びのテーマに沿って内容項目ごとの関連性を意識した教材配列となっています。「学びの記録」というのが各学年の巻末にあり、各自振り返りがしやすい工夫がなされています。ワークシートについてはデータであり、加工して使用することができます。教師用授業ノートで指導と一体化した授業ができるようになっています。教科書の大きさはB5版となっています。

続きまして、日本文教出版でございます。はじめに、道徳科ではよりよく生きるために学ぶのだということが明記されており、学び方として気づくことから始め、考え、議論する、深めることによって前向きに自分を見つめる、生かすという学ぶ手立てとして3つのステップとして示されています。自分たちの問題として、「いじめと向き合う」については、発達段階に応じて考え議論できるように、各学年で多様な教材、コラムがユニット化されており、複数配置がされています。また、目次には様々なマークが追記されており、テーマや学習方法が一目でわかるようになっています。別冊の道徳ノートは本書準拠となっており、振り返りにつきましては項目ごとに数直線で簡単に記入できるようにになっています。最終ページには学期ごとの振り返りができるように工夫されていたり、教師シナリオの発問を設定し、ノートに記入させたりすることもできます。学期末の振り返りにつきましては、保護者記入欄があり、家庭と学校の連携を図ることに活用ができます。「学習の進め方」というページにつきましては、道徳的な行為に対する体験的な学習や役割演技の方法を、写真あるいは図で示すことによって生徒が活動をイメージしやすく、授業の中で実践したくなるよ

うに工夫されています。教科書、道徳ノートともに、大きさはB5版となっています。

その他の教科用図書として、その他5社の教科書について具申内容を申し上げます。

廣濟堂あかつきにつきましては、急激な社会の変化に伴って、いじめ防止、情報モラル、キャリア教育、福祉教育に関する教材など現代的な課題について、生徒が身近な問題として考えられるように配慮されています。内容的には、道徳の教材の中で長く読み継がれてきた教材が多く掲載されているという印象でございます。心を打つ先人の伝記や様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手の実話なども豊富に取り入れられており、生徒の興味関心が深まるよう配慮されています。別冊の道徳ノートがあり、教材別と内容項目別の数値評価シートが用意されています。道徳の授業でつけたい力については、教科書の冒頭で丁寧に示されています。全学年共通で、「自主、自立、自由と責任」「生命の尊さ」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」を重点項目として、各3時間ずつ3つの教材が用意されています。教科書、道徳ノートともにA/B版であり、道徳ノートについては本冊に収納できるようになっています。

続きまして、学研でございます。各学年のオリエンテーションのページでは、「教材と出会う」「教材をもとに考える」「話し合い、磨き合う」「生き方についての考えを深める」という、生徒が主体的に考えを深めるための4つのポイントに沿って、道徳授業の向き合い方や学び方を教科書の冒頭で提示されています。「生命尊重」「いじめ防止」を全学年の重点項目として取り上げています。「クローズアッププラス」として、それらにつながる3つのテーマの教材が用意されています。環境、貧困、平和等の課題への取組をあげ、広い視野で物事を考える視点を入れていることや、今を生きる人、先人など人物教材が非常に多いのが特徴となっています。何について考えるかという主題名を明らかにしないことで、特定の価値観を押し付けず、多様な学びの中で生徒が自ら道徳的価値を内面的に自覚するようにねらいを設け、工夫されています。データ集としてワークシートがあり、教科書はA4版となっています。

続きまして、学校図書でございます。22の内容項目ごとに道徳的価値に重点化した「心の扉」が設置してあり、教材と合わせて生徒が道徳的価値を理解するための視点が明確に示されています。道徳の授業の進め方として、「考え、議論する」活動を組み合わせることを中心に、「問題解決的な学習」「体験的な活動」を発問の中に取り入れ、学びに向けた多様な学習が展開できるよう工夫してあります。現代的な課題として、いじめや情報モラル以外にもLGBTの問題を取り上げています。各教科の学習内容や行事と関連付けながら、多様な媒体を用いて考えを深めていくことができる教材が配置されています。また、各学年冒頭に道徳の学習に向かう基盤として、「学級づくり」のページがあります。全体的には文章量が多いということで、対話活動の時間の確保が必要と考えられます。ワークシートがあり、教科書はAB版となっています。

続きまして、日本教科書でございます。教科書の冒頭に、道徳で学ぶプロセスを「興味、関心」「問題意識」「考え、話し合う」「自分を見つめる」「深め、発見させる」の5つの段階で説明し、学習指導要領のくりであるABCDも示されています。特徴の一つとして、同一人物の成長を3年間追いつけるストーリーが、3カ年にわたって掲載されています。表紙からも、「伝統文化」を意識していることが見受けられます。また、教材の文末が問題提起で終わっていたり、「でも…」で終わっていたりして、生徒の興味・関心が高まる内容となっています。工夫点といたしましては、新聞記事を利用した教材等が盛り込まれており、生徒が現実的に物事をとらえることができるよう配慮されています。生徒の振り返りといたしましては、観点別に数字で自己評価をさせるようになっております。ワークシートはあり、教科書はB5版でございます。

最後に教育出版でございます。人の生き方に学ぶということで、歴史上の人物を取り扱った愛国心に関する教材が多く見られます。そのほか、オリンピックあるいはパラリンピックで活躍しそうな人を多数取り上げています。本教材が30本、補助教材が5本掲載され、地域教材などの活用の際に入れ替えがしやすいように配慮されています。巻末の「どんな〇年生になりたいか」あるいは「そして未来へ…」の

ページに保護者記入欄が設けられており、家庭との連携において活用ができるようになっております。全学年を通して、「生命の尊さ」「いじめや差別」「情報とよりよく付き合う」の3項目を重視項目として重視されており、教材の末尾にあります「学びの道しるべ」を通して生徒が物事を自分に引き付けて考えたり、多面的・多角的に考えたりできるよう工夫がなされています。ワークシートがあり、教科書はB5版の大きさでございます。

教育長 これより、質疑を行います。

委員 確認ですが、選定教科用図書3社については、序列があるのでしょうか。

選定委員長 序列はありません。調査員中心に8社の教科書を調査していただき、本町の道徳の重点目標や学校教育目標と照らし合わせた結果、バランスが取れている教科書を報告いただいております。

委員 調査員の意見を基に、島本町の道徳の授業方針と照らし合わせて、どういう教科書が良いのかを教えてください。

選定委員長 中学校2校とも同じ教育目標を掲げております。また、道徳においての目標も掲げております。その中で、島本町の教育として重視している目標は、自主・自立の精神、人に対する思いやり・感謝、人権といったもの。さらには、社会性を育成するというところでございます。これらの目標と照らし合わせて、各教科書において内容の質や厚みがあるのかを調査員に報告いただいております。

委員 道徳教育は、単独だけではなく各教科との連携を図りながら行っていくものだと思いますが、学校ではどのように考えておられるのでしょうか。

選定委員長 各教科との連携につきましては、年間の指導計画を作成しており、22の内容項目の中で、他の教科とどういった結びつきができるかといったことを検討しながら、道徳の授業を進めております。

委員 教科書によって評価方法がばらばらですが、教員が道徳の評価を行う際にはどのようにするのでしょうか。

選定委員長 道徳の評価につきましては、数値としての評価はふさわしくないことから、文章表記での評価となっています。一定期間における子どもの心の成長であるとか、心の変化であるとかを見ていくことが重要で

あると考えています。教科書によっては学期ごと、単元ごとに評価を行うような形のものがありますが、現場といたしましては、授業のその都度に振り返りを行うことが望ましいと考えております。

委員

教科書全部見たな中で、選定教科書3社のうち、2社はいいなと思いました。また、その他の教科書の中でも、1社はいいなと思いました。観点としては、まず目当てが掲げられており、これから学習する内容を意識づけたうえで授業を行う方がいいのか、授業を進めていく中で、重要なポイントを汲み取る方がいいのか、というところです。選定教科書のうちの2社は、最初に目当てが書かれていますし、その他の教科書のうちの1社については、最初にはないのですが、最後にクローズアップというコーナーで様々な事例が掲載されていて、中学生に知っておいてほしいことが掲載されていたり、話を進める上での手立てが掲載されていたりするので、重要な点を一緒に考えていくという中ではいいのかなと思いました。

実際島本町の教育として、現場の先生方としては、最初から目当てが書かれている方がいいのか、授業や話し合いを進めていく中で汲み取っていく方がいいのか、どちらがいいと考えておられるのか、教えていただきたいと思います。

選定委員長

現在、2校とも各教科においては、授業の初めに狙いを提示したうえで、授業が進められています。その点では、道徳の授業におきましても同様に、めあてというものはっきり生徒に提示したうえで授業を進める方が、子どもたちにとっても議論や考察をしやすいのではないかと考えております。

教育長

教科書について、具体名を挙げてご意見をいただいても構いません。

委員

選定教科書のうち、いいなと思っている2社についての感想を述べさせていただきます。文章の質としては、光村図書がよかったなと思いました。本としての紙の質であったり、文字の大きさやフォントの変化であったり、内容がずっと入りやすいように感じました。日本文教出版の教科書については、子どもたちが知っている人で、現在活躍している人のコラムやエッセイのようなものが、押しつけがましく書かれていなくて、その人の言葉で書かれているような感じで、子どもたちにとっても入りやすく、学びやすいのではないかなと感じま

した。

委員

基本的には現場の先生方の意思を尊重して選んでいきたいと考えています。なお、昨年度の小学校での採択の際にも申し上げましたが、個人的には道徳の教科化には反対するものです。戦前の修身への回帰を懸念するのが理由です。教科書の選定にあたっては、このような視点で見させていただきました。昨年については、8社のうち3社は選定に反対、1社はベターだと考えておりましたが、選定委員会からの具申には4社とも入っていなかったため、他の委員の意見を基に選定いたしました。今年については、8社中2社は選定に反対、1社はベターだと考えております。具申内容における選定教科書には反対の2社が入っておらず、ベターだと考える1社が入っております。選定教科書3社について序列が無いとのことですので、個人的にベターだと考えているのは、光村図書の教科書です。仕事柄、人権とは何か、なぜ人権は尊重されなければならないか、ということを考えさせてくれる教科書が望ましいと考えております。道徳を教科化するにあたっては、現行の憲法をベースにしていくことが望ましいと考えています。具体的に教材としていいなと思ったものを各学年2つずつ挙げていきます。1年生では、7番の「私の話を聞いてね」と15番の「父の言葉」、2年生では、9番の「民主主義と多数決の近くて遠い関係」と27番の『桃太郎』の鬼退治、3年生では、6番の「二通の手紙」、24番の「村長の決断」、これらが個人的に良いと感じた教材です。

委員

8社の教科書を拝見した感想を述べさせていただきます。それぞれ分量や配置、教科書の大きさ等も気になる点で、後ほど松本委員長にもお伺いさせていただきます。まず光村図書の教科書ですが、全般的に読みやすい話を集めていて、イラストも優しく、受け止めやすいなと感じました。また、ワークシートについても振り返りがしやすく、別冊ノートでもさらに学ぶことができるというところが良いところだと感じました。続いて日本文教出版の教科書ですが、多目的にテーマを取り入れており、他の教科との連携も取りやすいように感じます。また、一つ一つが短編なので、時間内に完結して、授業としても取り入れやすいのではないかと思います。他に廣済堂あかつきの教科書ですが、字が大きくて読みやすい印象を受けました。別冊ノートが厚く、

更に内容を深められるようになっていて、いいなと思いました。ただし、文章が長めで、1時間の授業で完結するのは難しいのかなと感じました。あと学研の教科書について、教科書を開けて見た時に、写真やイラスト、文章などの配列が見やすく、文章を読むのが苦手な生徒でも取り組みやすいのではないかと感じました。逆に日本教科書の教科書は、字が小さく、語句や漢字も少し難しいように感じました。

最後に、松本委員長にお伺いしたいのですが、教科書の大きさが様々あって、具申内容にも記載されていますが、生徒が持ち運んだり、授業で使用したりするのにあたって、一番適した大きさというのはどのようにお考えでしょうか。

選定委員長 教科書の大きさ等についても、調査員から報告を受けています。教科書の大きさについては、授業中は教科書以外にもノートやワークシートなどを机の上に広げることとなります。そのため、机の上でうまく教材が配置できるような、適切な大きさが望ましいと考えております。

委員 確認ですが、あまり大きすぎず、厚すぎないものが良いということでしょうか。

選定委員長 その通りです。

委員 道徳というのはまず、自分がどういう人間であるか、自分自身を知ること、また、人の意見を聞きながら他者と自分が違うということをつかっただけで、差異を認めていくということが大事だと考えています。

自分が授業をしていて、一番学生の振り返りとしてしっかりできていると感じるのが、役割演技をした時です。学校の授業においてアクティブラーニングを導入されているのも、子どもたちの印書に残りやすいのかなと思います。例えば、「いじめないようにしよう」ということも、いじめられる経験が無いと、いじめられる人のつらさがなかなかわからない。でも、それをわかろうとする時に、役割演技をすることで、疑似的にその状態のつらさや悲しさなどを感じることができると思います。東京書籍や日本文教出版の教科書は、そういった役割演技を通じた指導を意識しておられるように感じました。光村図書の教科書については、皆さんもおっしゃっているように文章は見やすく、

テーマのバランスもいいなと思いました。また、学びのテーマのページに「見方を変えて」という欄があり、自分が考えた意見とは別の視点で考えさせたり、他人の意見を聞いたりすることで、更に学習が深まるのだと思います。ただ、文章量が多いなと感じました。日本文教出版の教科書は短編で、1時間の授業で完結できるようになっているのがいいなと思いました。テーマが多くて、教科書すべてを網羅できないかもしれませんが、他の教科との連携という点で言えば、やりやすい教科書になっているのではないかと感じました。また、ワークシートもあり、その都度子どもたちの心境を把握できるツールになったり、一冊で振り返りが行えたりするのかなとも思います。

教育長

8社分の教科書を何日もかけて読ませていただきましたが、読み物としては光村図書の教科書が読みやすいと感じました。ただし、道徳の授業に関しては担任以外にも副担任が行うこともあったり、いじめに関しては中学一年のうちから様々な教材で授業を行っていたりします。そういった点では、日本文教出版の教科書はテーマがたくさんあって、全部することは大変ですが、その時に応じて教材選択できるのが良いところだと感じます。また、授業の最初にねらいを提示してから学習に臨む態勢をとってきたことから、使用しやすい教科書であると思います。みなさん同様、それぞれの教科書に良い点があるのでなかなか決めかねるとは思いますが、私の感想はこのようなものです。

選定委員長

皆様の意見が非常に的を射たものだと受け止めました。選定委員会や調査員会においていろいろと議論を重ねてきました。その中でも道徳の目的というのは、自分の生き方について深く考えて、どのようにより良い生き方にしていくかを考えるということであり、この点が他の教科と違う点だと考えております。単に教科書にある知識や技能を教え込むだけではなくて、教科書にある教材を活用しながら考えたりみんなで議論したりして、新しい発見や自分とは違う考え方に触れるということが重要だと考えております。そういった点では、文章量の多い少ないではなくて、生徒の心が動かされる内容が充実しているかどうかを重点としてとらえて検討してまいりました。選定教科書3社につきましては、内容的に非常に充実していると判断したところがございます。3社とも内容的に素晴らしい教材が配置されていると感じ

ました。現場の先生や調査員の意見ですが、若い先生が多く人生経験も少ない中で、生徒にこの教科書を使って考えさせていかななくてはならない状況となります。日本文教出版の教科書には、道徳ノートが付属されており、ワークシートの手軽さや、教科書との連続性があることから、比較的先生方にとって手軽に生徒に考えさせたり、生徒の心情を把握したりできるという点が、日本文教出版の教科書の特徴として挙げられます。これが、活用しやすそうだという意見が挙がっております。

委員 今、道徳ノートの話が出ましたが、日本文教出版の道徳ノートなら、あまり押しつけがましくなく、授業の目標や他の意見を取り入れやすく、使いやすいのではないかと感じました。そういった点が、日本文教出版の教科書が活用しやすいということでしょうか。

選定委員長 現場の意見ではございますが、授業も様々あり、その分だけ準備がございませぬ。そのような中で、道徳の授業準備にどれだけの時間をかけられるか、どれくらいの負担なのかという視点も持ったうえで検討してまいりました。そういった視点では、道徳ノートは手軽に活用でき、ワークシートの作成においても参考になるということで、使いやすいそうだという意見が多くありました。

教育長 他にございませぬか。

(「なし」の声あり)

教育長 ないようでございませぬので、質疑を終結いたします。

これより本案に対する討論を行います。

委員 私たちはここで議論しますが、実際に現場で教えるわけではないので、選定は難しいなと感じていませぬ。他の委員がおっしゃったように、実際に現場で教える先生方が教えやすかったり、生徒の理解が深まりやすかったりする教科書がいいのかなと思ひませぬ。そういった意味で、日本文教出版の教科書がいいのではないかとと思ひませぬ。

委員 先ほども述べたとおりですが、基本的には現場の先生方が良いと思ひませぬものを選ぶのが良いと考えていませぬ。今までの議論を聞いていませぬと日本文教出版の教科書が現場としては使いやすいとのことですので、日本文教出版の教科書がいいのではないかとと思ひませぬ。

委員 中学校では初めての教科ですし、まずは先生方が授業しやすい教科

書ということで、日本文教出版の教科書から使用するのがいいのかなと考えます。活用していただいて、子どもたちにはいろいろな人の経験や考え方をたくさん知ってほしいなと思います。

委員

中学校での道徳の教科化にあたっては、先生や生徒がどんなふうになるかということがまだ明確にわかっていない状況だと思います。そのような状況の中で、テーマが多岐にわたっていて、いろんな分野、方面から授業を進めていけるというのは、取り組みやすいのではないかと思いますので、日本文教出版の教科書がいいのではないかと思います。

教育長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようでございますので、討論を終結いたします。

それではお諮りします。種目「道徳」については、日本文教出版の「中学校道徳 あすを生きる」を採択することとして、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

ご異議がないようでございますので、採択することに決しました。

この際、暫時休憩いたします。

(松本委員長 退室)

教育長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

第7号報告「平成30年度夏季休業日中における児童生徒の指導について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

教育推進課参事

平成30年7月10日付け、島教教第352号にて各学校長に対して、夏季休業日中における児童・生徒の指導について適切かつ万全に行われるよう通知しました。また、大阪府教育委員会からの通知も併せて指導を行っています。

本町では大きく2項目12点について留意事項を作成しました。第1項目の生徒指導については、必要に応じて警察や関係機関と連携した対応を行うことを示しました。また、第2項目の安全管理については、今夏既に地震や集中豪雨による不測の事態が発生しており、休業日中の災害時の対応や連絡体制等を確立すること。また、連日暑い日が続いておりますが、特に部活動指導において、熱中症や落雷、集中

豪雨等の事故予防に徹底した指導及び啓発を行うように明示しました。

さらに、携帯電話やスマホ等の利用に起因した生活リズムの崩れや、トラブル、事件に巻き込まれないよう、家庭でのルール作り及び啓発を行うように示しました。加えて、島本町小中学校生活指導研究協議会からも、保護者宛啓発プリントが配布予定で、そちらも併せて記載事項に留意の上、適切に対応するよう各学校に対して指導を行いました。

教育長 ただいまの報告について、ご質問、ご意見等ございませんか。

委員 暑さ対策について記載がありますが、他の地域で事故もあったので、基準や今後の対策など教えていただきたいと思います。

教育推進課長 熱中症予防や夏季休業中の事故防止については、昨日の校長会にて再度周知いたしました。各学校において、熱中症指数計を指導者が確認したうえで、適切な運動時間、運動内容を工夫するよう指導しております。また、気象庁からの高温注意情報を提供するなどし、無理な活動を行わないよう学校へ周知しております。

委員 長期休暇中には、保護者が不在で子どもだけが家にいる状態が発生する可能性があります。災害による避難情報などを、仕事で離れた地域にいる保護者が得ることは難しいと思います。そんな時に子どもたちに何かわかるような情報があればいいなと思いますが、何か対策はできるのでしょうか。

次長兼教育総務課長 現在のところ町内では、避難情報について、メール配信や防災無線で周知をしております。お子さんについて、全員が携帯電話を持っているわけではないと思いますので、まずは各家庭において、災害時の対応について話し合いをしていただくことが大事ではないかと考えております。また、学校においては防災教育等を通じて、お子さんが防災に対する意識を持てるよう指導しております。

教育長 他にございませんか。

（「なし」の声あり）

教育長 ないようでございますので、報告を承ったものといたします。

以上をもちまして、本日の議事は全て議了いたしました。

これをもちまして、平成30年第8回教育委員会定例会を閉会いたします。